

2025年6月13日
株式会社Core-S
本部対策室

弊社ネットワークへの不正アクセスに関する調査結果のご報告

2025年5月15日に公表しました弊社ネットワーク内への外部からの不正アクセス（ランサムウェア）による被害の発生により、多大なるご迷惑とご心配をおかけしていることを深くお詫び申し上げます。この度、外部専門家の協力のもと調査を行った結果をご報告申し上げます。

1. 経緯と対応

2025年5月15日、外部からの不正アクセスによりランサムウェアによる社内システムサーバーのデータが暗号化される被害を受け、速やかに影響を受けたサーバーのネットワーク遮断等の初期対応を行いました。又、外部専門家と連携しシステムの復旧およびセキュリティ対策の強化に全力を挙げてまいりました。同時に社内において本部対策室を設置し、京都府警をはじめ個人情報保護委員会及び業界団体である日本医療機器販売業協会にも報告するとともに、外部専門家と連携し影響範囲の特定、原因の特定並びに不正アクセスを受けた情報の精査を行いました。

2. 調査結果

外部からの不正アクセスにより一部アカウントが侵害され、ランサムウェアによりデータの暗号化及びそれに伴うシステムの停止が発生しました。取引先や個人情報が保管されたサーバーではデータ流出の直接的な痕跡はなく、現時点でお客様およびお取引先様の個人情報・機密情報の外部流出は確認されておりません。

3. システム復旧

影響を受けたサーバー等については切離しを行い、別の環境においてバックアップデータの復元を行い稼働する事が出来ております。又、サーバー及びパソコン全台のパスワード変更、ウィルスチェックを行い常にセキュリティ監視されている環境下にて運用を行っております。

4. 再発防止に向けた取り組み

今回の事態を真摯に受け止め、外部専門家の協力を引き続き受けながら、情報セキュリティ管理室を新たに設置し、同様の事態が二度と起きないように継続的に情報セキュリティ管理を行います。より一層のセキュリティ対策を講じ、再発防止に努めてまいりますので、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

改めまして、関係者の皆様には、多大なるご迷惑とご心配をおかけしていること深くお詫び申し上げます。

以上